

大島校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時 平成25年7月13日(土) 11:00~12:30
場所 大島公民館
参加者数 男40人 女13人 合計53人



1. 校区の課題

課題名 (大島公民館移転後の有効活用について)

質疑応答 (要約)

質疑等

大島公民館移転後の有効活用について、健康づくり専用の福祉施設としての整備を要望する。現段階での施設整備事項として、次の4項目を要望する。

- (1) 高齢弱者等が車いすで出入り可能な通路の確保
- (2) 館内施設・設備のバリアフリー化
- (3) 2階大会議室への外側からの進入路の整備 (現在の非常階段を改良)
- (4) 施設の管理運営は公営(市)で実施

回答

平成24年度に、大島小学校施設の後利用協議において、公民館機能を小学校施設に移すことや、公民館施設を高齢者福祉目的で利用することについて、大島住民代表の皆様とともに検討した。

その中で、様々な意見をいただきながら協議を進めてきたが、平成24年度中の協議内容は、主には小学校施設に関するものだったことから、公民館施設の後利用については、

引き続き今年度に協議を行い、要望内容を取りまとめていきたいと考えている。

既存施設の利用を前提とした検討であるため、様々な制約もあることから、今回いただいた要望を含めて、今後、大島住民代表の皆様と一緒に検討したいと考えている。

公民館機能が小学校施設に移転が完了する平成26年度までに大島の住民の方の希望に添ったかたちで整備を進めていきたい。

※ 再検討事項 なし

課題名（ 上之町海岸線道路の拡張整備について ）

質疑応答（要約）

質疑等

近年、大島を訪れる市民が増え、人・車の交通量が増加し、活性化が図られている。その反面、交通事故などの安全性が心配される。

大島海岸線（市道 267 大島本線）を東進すると、東海岸へ出るカーブに差し掛かる部分の道路幅が狭く、そのうえ見通しが悪いため危険な状態である。安全・安心に通行できるよう道路整備を要望する。

また、本線から市道 272 大島支線までを接続する東海岸道路は、側溝及び路肩が未整備であるため、合わせて整備を要望する。

回答

拡張の要望のあった道路部分は、農林水産課が管理している漁港施設用地である。現地を確認したところ、隣接する土地との境界が明確でなく、かつ、記念碑等が存在している。このような条件整備・調整について、地元の協力をお願いしたい。また、当該道路は、認定された道路でないため、早期の拡幅は困難であると考えている。

ただし、大島住民にとっては、日々の生活道路として利用頻度も高いことから、当面は補修等の対応を行いながら、今後、市道として認定あるいは側溝・路肩の整備について可能かどうか協議を進めたいと考えている。

※ 再検討事項 なし

2. その他

課題名（ 市への要望事項その1 ）

質疑応答（要約）

質疑等

大島の芋焼酎が売れるように「道の駅」のようなものを造ってほしい。

回答

新居浜市の道の駅「マイントピア別子」では、既に芋焼酎「あんぶん」が販売されてい

る。

質疑等

蜜柑の経営基盤の強化を図るため、農道整備をお願いしたい。

回答

サイクリングと観光を結びつけて取り組んで行きたい。

質疑等

島内は、30～50代の独身者が多いので、お見合いツアーを企画してほしい。

回答

愛媛県が法人に委託し取り組んでいるので、新居浜市でも企画していただけるよう要望しておく。

質疑等

渡海船に灰皿を設置してほしい。

回答

渡海船は室内禁煙であり、2階デッキに灰皿を設置してある。1階はバリアフリー等のスペースの関係で設置できない。

※ 再検討事項 なし

課題名（市への要望事項その2）

質疑応答（要約）

質疑等

現在、大島はISDN回線しかないが、ICTバリアフリーシステムは利用できるのか。

回答

ISDN回線ではICTバリアフリーシステムは利用できない。今後、公民館等にブロードバンドの高速回線を整備する予定なので利用可能となるが、同時期に全戸は難しい。ただし、携帯電話での利用は可能である。将来的に個人の利用希望者が増えれば、回線が整備され、利用可能となることも考えられる。

質疑等

行政無線の合成音声聞き取りづらいので対処してほしい。

回答

技術的なことであることから、業者と相談し検討する。

質疑等

出前講座は充実しているが、ホワイトボードが必要となる場合は市側で設置してほしい。

回答

公民館と協議し、ホワイトボードが必要ということであれば設置する。

※ 再検討事項 なし

課題名（市への要望事項その3）

質疑応答（要約）

質疑等

東側海岸線の崖崩れ箇所だけでも対策がとれないか。

回答

危険度の高い所から順次対応したい。ただし、工事を実施する場合は、私有地の取り扱いの問題が残る。市としては、ソフト対策（降雨量等による通行止めの基準作成）及びハード対策（仮設を含む工事）の両面から検討して行きたい。

※ 再検討事項 なし

2. その他 なし